



「施設削減ありき」の目標見直し、住民不在の道路計画撤回を 区民の声に向き合う区政に



質問する、のの山けん区議会議員

区議会第3回定例会 のの山区議が個人質問

9日、北区議会第3回定例会本会議で、のの山けん区議が個人質問をおこない、公共施設のあり方と都市計画道路補助86号線をめぐる諸問題について、区長、教育長の姿勢を質しました。

公共施設のあり方について

志茂3・4丁目・日 答えました。また、マ本化薬工場跡地に建設 ンション建設によってされる大規模マンションに 1000人以上の人口が増えることから、近議は敷地内の保育施設 接する志茂東ふれあい館は存続させることを認可保育園に活用す ことを提案。区は「区 要望しました。 置を要望している」と 西ふれあい館に代わる

志茂1丁目自 治会館建設と いう地元の要 望に前向きに 応えるよう提 案。都からの 「道路事業の 代替地に」と いう要求には 疑義を呈しま

した（裏面参照）。 今年度末で上中里 コミュニティ会館が廃 止となる問題について は、利用者への説明が 廃止決定後だったこと を指摘し、「廃止決定 の前に利用者の意見を 聞くべきではなかった か」と追及。区は、「最 終確認を経て開催した 説明会で丁寧の説明し た」などと利用者軽視 の答弁に終始しました。 公共施設に関わる これらの問題をふまえ のの山区議はコスト面 のみから導かれた「20 年間で15%の施設面積 削減」という数値目標 を見直し、施設充実を 含めた現実的な公共施 設再配置の目標を検討 するよう求めました。

あらためて86号線問題を問う

住民の意向を無視し て進められている特定 整備路線補助86号線 問題については、3月 に事業認可された赤羽 南区間の用地説明会で、「公共事業でありなが ら公共の福祉にどう利 するかの説明もないま ま土地を売れとは何事 か」「2年前に許可を 得て新築したばかりの 家を壊して立ち退けと 要望しました。

また、志茂地区では 北清掃工場における都 と住民との公害防止協 定や、1946年の都 市計画決定の法的瑕 疵問題をとりあげ、あ らためて都に事業の中 止・撤回を求めるよう 要望しました。

道路事業の代替地を要求

北区は「協力する考え」表明。のの山区議「利活用検討委に関係者招致を」

旧赤羽中跡地の利活用をめぐる、東京都が補助86号線などの道路事業によって立ち退く住民へ住宅を提供するための「代替地」を要求していることがわかりました。

8月25日に開かれた第3回学校施設跡地利活用検討委員会で、北区の担当課長が都から要望が来ていることを報告。委員からは「86号線の用地として全部提供しろということか」「断ることもできるのか」と驚いたような質問が出されました。

区は検討委員会への関係者招致を拒否

9日、区議会個人質問の再質問で私が、都からの要望はいつ、どのようにならなければならないかと、区は「7月に文書で明らかにした」と答弁しました。しかし、利活用検討委員会には文書は提出さ

れず、口頭で伝えられただけ。しかも、議論が深まらないまま最後になって委員長から「代替地とは具体的にどういうことか。都はどれくらいの広さが必要とっているのか」「道路用地と代替地で敷地の半分がつかれるなどということがないようにはしてほしい」との発言がありました。

私は、こうした議論の様子も紹介し、利活用検討委員会に、賛成・反対両方の86号線関係者と東京都を招致し、意見を聞くことを切に要望しましたが、区は、「第1回の検討委員会で委員長から跡地利活用と道路事業は切り離して議論すべきとの仕切りがあったので、道路関係者から意見を聞くことは考えていない」などと答えました。

しかし、跡地利活用の議論に「道路事業の代替

補助86号線計画線(幅員20m)



旧赤羽中跡地(現なでしこ小)イメージ図

地」という要求を持ち出してきたのは東京都です。利活用検討委員会の場で、この要望について当事者から意見を聞き、議論を深める必要があることは論を待ちません。

次回の検討委員会には利活用案提示

今回の利活用検討委員会には、都の代替地要求も含めた区としての旧赤中跡地利活用案が提示され、事態は緊迫した局面を迎えています。

しかも、志茂86号線をめぐって5割、6割の地権者が反対している中で、わずかな住宅しか提供できない代替地の要求に依

(のの山けん)

次回の学校施設跡地利活用検討委員会は

9月28日(水)19時 北とぴあ・カナリアホールにて